

中津市議会議員 大塚 正俊

# まちづくり 通信

発行；大塚まさとし後援会 中津市新大塚町 384 Tel・Fax 0979-22-6972  
 携帯 090-2508-7959 E-mail [masatoshi@m-ohtsuka.com](mailto:masatoshi@m-ohtsuka.com)  
 URL（ホームページ） <http://www.m-ohtsuka.com/>



## “待ったなしの過疎地域対策。まずは集落点検から”

3月18日、私が事務局長を務める中津市自治研究センターの設立20周年記念講演会「過疎地域を元気にするために～地方消滅論に立ち向かう～」を開催しました。

講師の首都大学東京の山下祐介准教授から、「地方創生競争から、『自分たちの地域を守る共依存』へ～過疎集落の再生と地域自治組織づくり～」と題してご講演をいただきました。

山下先生から、**過疎地域でのあきらめが生じ、人びとの逃散につながっている可能性がある。「この地域は残らないのでは？」という不安が悪循環を生み、人口減少＝地方消滅が過疎地域から止まらなくなっている。**

「**限界集落**」とは、**高齢者が半数を超え、集落の共同活動が維持されなくなった集落。**

これまで、**過疎集落が維持されてきたのは、広域に広がった家族の絆。ふるさと維持の仕組み。家族と地域がしっかりしていれば、子どもは生まれる。逆に家族と地域の立て直しこそが大切。（経済ではない。）**

そこで、**集落点検をしてみてもどうか。この結果をふまえて、集落でできる活性化策を考える。人が戻ってくるような策は何かと？**

今一番大事なのは、**自分たちのことを自分たちで考える。自分たちでできていることで自信を持つ。できないことをしっかり行政にやってもらう必要がある。（インフラ、学校、交通、医療、買い物：小さな拠点、生存権）**とのご示唆を頂きました。

今、待ったなしの過疎地域対策にむけて、私も全力で取り組んで参りますので、変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



第1回定例会市議会（3月議会）は、2月22日から3月24日の31日間開催されました。平成28年度一般会計補正予算、平成29年度一般会計等の予算関連議案27件、条例議案20件、その他議案5件、人事案件14件、報告案件5件、意見書2件、計73件を審議し、原案どおり可決しました。

## ■ 3月定例議会で決まったこと。【抜粋】

1. 平成28年度一般会計補正予算；補正額8億8,700万円減額  
 （補正後予算額428億8,052万円）

### □就学援助奨励事業：約236万円

- ・今年度より入学準備金として、3月に要・準要保護児童援助費を支給。

### □山国社会福祉センター（仮称）整備事業；3,806万円

- ・工事請負費、備品購入費
- ・平成29年度末完成予定
- ・総事業費4億1,600万円⇒3億6,160万円に圧縮



山国社会福祉センター整備イメージ図

## 2. 平成29年度一般会計予算：予算額417億6,067万円

### □福祉的交通弱者支援事業：約1,800万円

- ・年間1人12,000円分（500×24枚）のチケットを給付
- ・対象者は、障害者・療養手帳等をお持ちの方や要介護1～5の在宅の方で、市民税非課税世帯 約1,500人



東京都北区の福祉タクシー券

### □田舎困りごとサポート事業：3,072万円

- ・旧下毛地域の過疎地域の課題解決に向け、行政手続きの代行（住民票・戸籍・印鑑登録証明書等の取得代行や医療・福祉関係書類の提出補助）、独居老人等への訪問による会話や安否確認、軽微な生活道路の草刈、支障木の伐採作業、その他応援業務（災害危機管理業務、地域行事など）を行う。



田舎困りごとサポート

※各支所に職員を2名配置

### □長寿祝金事業：1,396万円

- ・平成28年度までは、敬老祝金事業（4,138万円）で85歳以上の方に毎年1万円を支給
- ・平成29年度は、85歳（1万円）、90歳（2万円）、100歳（5万円）、平成30年度以降は、90歳（2万円）、100歳（5万円）の方を対象とする。

### □中山間地域創業支援事業補助金：300万円

- ・中山間地域内に居住・移住・定住してコミュニティビジネス等を創業する方に、創業資金を助成

※コミュニティビジネス等とは、

宅配、移動販売、配食サービス、地域の特産を使った飲食店・小売店、特産品の商品化、農業、婚活事業等



秋田県五城目町にあるレストラン

- ・補助対象経費：工事費（新增築・改築等）、設備費（備品購入費等）、役務費（広告宣伝費等）、補助率 1/2、補助限度額 100万円

### □商店街空き店舗活用事業補助金：400万円

- ・中心市街地商店街で、新規出店者や商店街振興組合等が空き店舗を活用して行う事業に対し、補助金を交付
- ・補助対象経費：店舗改装費（外装・内装工事、設備工事、設計に関する費用）
- ・補助率 2/3 補助限度額 200万円（商店街振興組合等）
- ・補助率 1/2 補助限度額 100万円（個人出店者）



日ノ出町商店街

### □子どものインフルエンザ予防接種助成事業：1,500万円

- ・対象者：未就学児から中学生まで ・助成額：1回接種あたり1,000円
- ・接種回数：未就学児及び小学生は2回、中学生は1回

### □胃がんリスク検査（ABC検査）事業：1,366万円

- ・対象者：40歳～65歳は5歳刻み、66歳以上全員
- ・特定健診負担額：40歳～65歳1,000円、66歳以上無料



### □子どもいきいきプレイルーム整備事業：4,000万円

- ・中津駅周辺の大型商業施設内に、無料の屋内遊び場と子育て支援センターを整備
- ・対象者は小学生以下で、保護者同伴とし、開館時間は、9:30～18:00
- ・広さ約900㎡のホールに、滑り台や砂場、遊具、木製おもちゃなどを設置
- ・みまもり支援員として、保育士等3名を配置



(屋内遊び場)

プレイルームの整備イメージ

### □住民型有償サービス事業：116万円

- ・住民型有償サービス事業の新規立上げに30万円を上限に補助（H28年度12万円）
- ・事業の運営に対して8万円／年を上限に補助

### □メイプル耶馬サイクリングロード活性化事業：918万円

- ・モデルコース及びマップづくり
- ・サイクルハブの増設（自転車ラック・空気入れ・工具購入）
- ・ベンチ設置、草刈業務委託などの環境整備

### □危険空家等除却事業補助金：300万円

- ・危険空家に指定された物件を、所有者等が自ら撤去をする場合に、工事費の1/2（上限50万円）を補助

### □宮永角木線整備事業：2億600万円

- ・家屋調査10件、家屋補償6件、用地取得、側溝工事等
- ・完成予定年度は、平成33年度末



家屋移転が始まった宮永角木線

### □フッ化物集団洗口事業：約85万円

- ・旧下毛の小学校にける集団洗口

### □北部幼稚園改築事業：約1億3,507万円

- ・測量鑑定委託料、工事請負費
- ・用地は県より無償提供 ・平成29年度末完成予定



幼稚園の移転先の支援学校のテニスコート

## 3. 条例の一部改正（抜粋）

### □中津市民病院事業の設置等に関する条例の一部改正

- ・小児科医不足から小児救急センターの夜間・休日診療を午後10時まで短縮
- ・午後10時以降は、小児救急電話相談窓口（☎22-6535）を設置し、診察が必要と判断された場合には市民病院で救急対応を行います。
- ・従来どおり、救急車等の重症の患者は受入れをします。



□空家等の適正管理に関する条例の一部改正

- ・緊急安全措置を追加（空家等が人の生命等に重大な損害を及ぼす等の危険な状態が切迫していると認めるときは、市長は必要な最低限の措置を講じることができる。）
- ・危険箇所等撤去業務委託料 30万円を計上

4. 第5次中津市総合計画基本構想

・「第5次中津市総合計画」は、まちづくりの最も基本的な計画であり、市の将来像を描き、目標を達成するために必要な施策の方向や主要施策を長期的な視点で定めるものです。

**【将来都市像と基本目標】**

**暮らし満足ナンバー1のまち「中津」**

- こどもの将来における可能性が最大限広がるまち
- 若者が未来を描くために必要な社会環境(雇用、生活、余暇、子育て、出会いの場など)が整っているまち
- 高齢者がいつまでも健康で、生きがいをもって暮らせるまち
- 男女や年齢の差、障がいの有無に関わらず、互いに支えあいながらコミュニティの一員として元気に活躍できるまち
- ふるさとを愛し、ふるさとの価値を次世代へ繋ぐまち

5. 人事案件

□中津市副市長：前田良猛（59歳）さん

- ・経歴 市民病院総務課長、総務部長等

□中津市教育長：廣畑 功（65歳）さん

- ・経歴 市民病院事務長、総務部長、教育委員会教育長（平成24年4月より）

6. 意見書（採択）※私たちの会派が提出したもの

□小児医療体制の充実と子ども医療費助成制度の拡充を求める意見書

3月定例会市議会の一般質問の概要

■私は、一般質問で以下の項目について執行部の考え方を質しました。



1. 待ったなしの少子化対策
  - (1) 出生数が増えない理由
  - (2) 若い世代の転出超過が進む理由
  - (3) 女性の働く場の確保
2. 保育園の待機児童の解消に向けて
  - (1) 保育園の待機児童対策
  - (2) 保育の今後の需要量と供給量
3. 放課後児童クラブの待機児童の解消に向けて
  - (1) 放課後児童クラブの待機児童対策
  - (2) 放課後児童クラブの保護者負担金のあり方

1. 待ったなしの少子化対策（抜粋）

〔情勢〕昨年12月9日に大分県が公表した人口動態統計（平成27年確定数）では、中津市の出生数は809人で、死亡数1,003人、自然減194人、合計特殊出生率（1人の女性が生涯に産む子供の数に相当）は1.94と緩やかな上昇傾向にあり。婚姻数は421組、離婚157組となっています。

(1) 出生数が増えない理由

＜質問＞子どもをたくさん産んでいる（合計特殊出生率を引き上げている）20歳から39歳の女性人口、合計特殊出生率、出生数をグラフにしてみました。女性人口は平成18年10,126人に対して、平成27年には8,700人まで減少しています。

ここ数年、合計特殊出生率は高くなっていますが、子どもの数が増えないのは、子どもを産む年代の女性が減少しているからと推測されます。

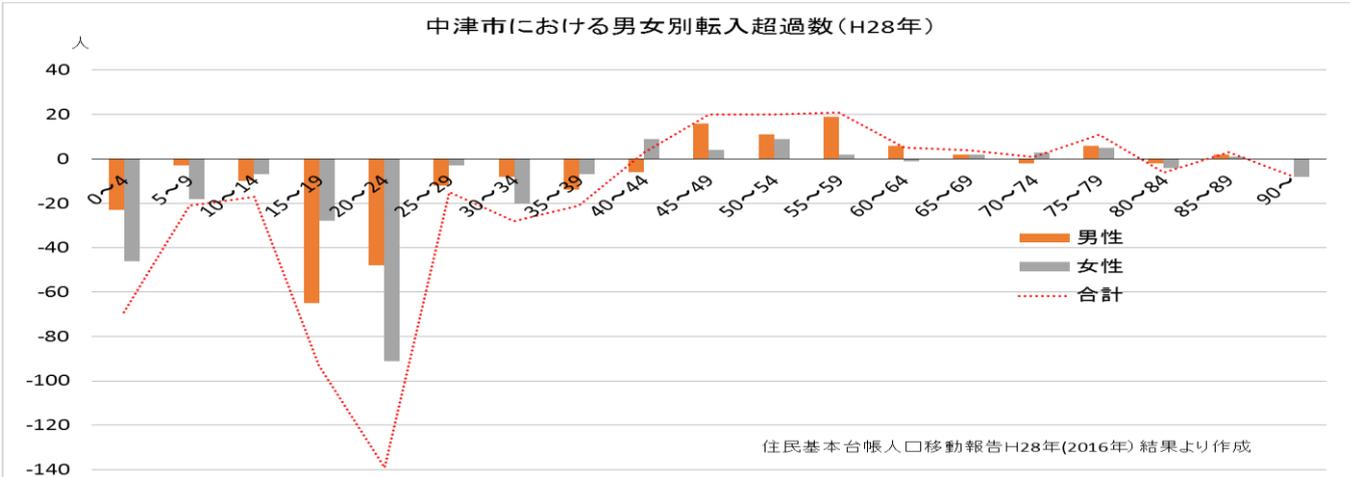
そこで、子どもを産む年代の女性が減少している原因をどのように分析しているのか伺います。



【答弁】若い女性が減少している大きな要因としては、進学などで都市圏（特に福岡県）へ転出していることが挙げられます。

(2) 若い世代の転出超過が進む理由

＜質問＞1月13日、総務省統計局から、平成28年の住民基本台帳人口移動報告が公表され、中津市の転入超過（転入者と転出者の差）をグラフにしてみました。



中津市の転入超過数は、-329人の転出超過となっています。このグラフで気になるのが、0～4歳の転出超過69名です。

昨年10月時点で待機児童が80名を超えており、入園のために隣接する市や町へ転居したのではと危惧しています。

また一方、平成29年1月時点の市内在住で、市外の認可保育園、認定こども園に入園している園児が144名もいます。宇佐市が74名、豊前市が21名、日田市13名、吉富町12名、上毛町11名等となっています。

そこで、市として69名の転出超過をどのように分析しているのか伺います。

【答弁】転出の理由ははっきりしませんが、一般的に未就学児がいる世帯の転入転出は、転勤に伴うものか、住居の購入に伴うものなどと推測されます。

### (3) 女性の働く場の確保

＜質問＞若い世代の女性の転出超過の原因は、女性の働く場が少ない、保育園や放課後児童クラブに入れない等の子育て環境の不備が考えられます。

そこで、現在、女性の働く場の確保として重点的に取り組んでいる施策について伺います。

【答弁】新たな雇用の場を創出し、若者の定住や移住を促進するため、これまで自動車関連産業だけではなく、若い世代の女性や子育て世代の女性の雇用が期待できるコールセンター業や食料品製造業なども視野に入れた誘致活動を行ってきています。

## 2. 保育園の待機児童の解消に向けて（抜粋）

〔情勢〕昨年4月1日時点では、待機児童は解消されましたが、空き待ち児童は48名、10月1日時点では、待機児童80名、空き待ち児童15名となっていました。

今年4月1日時点での待機児童の数は、2月10日時点では待機児童は0名、空き待ち児童は69人となっています。



### (1) 保育園の待機児童対策

＜質問＞今年1月現在の認可保育所の定員は2,350人で充足率は105%、認定こども園の定員は679人で充足率は100%となっています。

国では、定員の上限を撤廃していますが、今年1月時点の充足率を120%まで引き上げた場合の受け入れ可能児童数はどうなるのか伺います。

【答弁】充足率を120%に引き上げた場合は、現在の市内認可保育所の定員は2,350人ですので引き上げた場合は、単純に計算すると2,820人、認定こども園の定員は679人ですので同じく引き上げた場合は814人となります。

＜質問＞市内認可保育所で350人、認定こども園で130人以上受け入れが可能となります。待機児童が発生している最大の原因は、保育士が確保できないということです。

国は、平成29年度の保育士の確保対策として、私立認可保育所と認定こども園に対して、全職員に月額6千円程度（約2%）の処遇改善、それにプラスして、経験年数が3年以上の保育士に月額5千円、経験年数が7年以上の保育士には月額4万円の処遇改善を実施します。

しかし、平成27年賃金構造基本調査で公務員以外の保育士の平均月給は約22万円、全産業の平均33万3000円と比べると10万円以上低いことが明らかとなっています。

そこで、国の約2%引き上げ以外の給与加算の恩恵を受けない保育士10名（90人定員、職員17名のモデル）にも、市独自で同様な賃金引き上げの加算を実施すべきと考えますが如何ですか。

【答弁】今回の国の処遇改善により、経験年数を積む事でかなりの額の処遇改善が行われる仕組みとなっており、経験の浅い保育士等の早期離職の防止につながると考えられるので、市として単独で賃金等の引き上げを行うことは考えていません。

＜質問＞年度途中の保育園への入園が厳しいとお聞きしています。

年度途中の入園に対処できる保育士の事前の確保や保育士の病休、育休を見据えた加配保育士に対する市の補助金の加配をすべきと考えますが如何ですか。

【答弁】比較的人材確保が容易な年度当初より、独自に保育士を加配している認可保育所もあります。しかし、年度途中に発生する待機児童のための加配部分に対して補助することは、予算的にも高額になるため考えていません。

【私の主張】まち・ひと・しご創生人口ビジョンにおける2060年時点の人口推計70,695人を達成するためには、現在の出生数800人はなんとしても確保しなければなりません。

児童福祉法24条では、「市町村は、児童の保育に欠ける場合等において、保護者から申込みがあったときは、それらの児童を保育所において保育しなければならない」と規定されており、あらゆる手立てを講じて、早急に待機児童を解消すべきと考えています。

### 3. 放課後児童クラブの待機児童の解消に向けて（抜粋）

#### （1）放課後児童クラブの待機児童対策

＜質問＞児童クラブに入れないうちのいる北部や沖代校区等の待機児童解消に向けた取り組みについて伺います。

【答弁】北部校区は、5年後には市内で一番児童数の多い校区となる予測となっています。市では、豊田校区、大幡校区の児童クラブの整備に続き、今、最も必要性の高い校区であると認識しています。

現在、今後の北部小の余裕教室不足や幼稚園の整備の関係で、教育委員会と連携しながら、次年度に向けて検討を進めています。

また、沖代校区については、現在、地元の社会福祉法人がクラブ新設を検討中です。

#### （1）放課後児童クラブの保護者負担金のあり方

＜質問＞現在、児童クラブは、市直営や指定管理、社会福祉法人、運営委員会への委託方式で運営されており、市からの委託料と保護者負担金により児童クラブを運営しています。保護者負担額の平均額は4,637円、最大は7,000円、最少額は0円となっています。

そこで、児童クラブは、児童福祉法に基づく放課後児童健全育成事業として市が実施しており、運営形態に限らず、保護者負担金は同額であるべきと考えますが如何ですか。

【答弁】児童福祉法第34条の8では、国、県及び市町村以外の者が、放課後健全育成事業を実施する場合の規定があり、運営主体の多様性から保護者負担金は各事業者で定めるものであり、市町村以外の者が実施する場合は同額でなくでもよいと考えます。

【私の主張】各児童クラブに補助金を支給しているのであれば、現在の方法でも問題はありませぬ。しかし、児童クラブの実施主体が中津市で、運営委員会等に児童クラブの運営を委託しているため、保護者負担金の統一と公金として市が収納すべきと考えています。

## 活動日誌 主な活動の一部をご紹介します。

月日	曜日	活 動 内 容
1月2日	(月)	中津南高32回生還暦前同窓会
1月4日	(水)	新年のあいさつ回り
1月6日	(金)	中津商工会議所新年賀詞交換会
1月9日	(月)	北扇クラブと北扇ドリームの餅つき交流会
1月10日	(火)	北部小学校一斉下校交通指導
1月13日	(金)	明蓮寺御正忌報恩講
1月15日	(日)	新大塚町自治会総会、大塚町自治会総会、地区防犯パトロール
1月20日	(金)	中津地区平和運動センター、社民党合同新春旗開き、厚生委員会協議会
1月21日	(土)	北部校区なぎさサロン、どんど焼き竹きり、話飲の会
1月22日	(日)	東西蠣瀬町自治会総会、どんど焼き積み上げ
1月23日	(月)	認可私立保育園協議会と厚生委員会との意見交換会、沖代保育園現地調査
1月25日	(水)	市議会友好都市交流推進研究会、企業誘致及び地域活性化研究会
1月26日	(木)	中津市自治研究センター理事会&研究発表会
1月27日	(金)	北部校区自治委員会新年互礼会
1月28日	(土)	大塚まさとし市政報告会&励ます集い
1月29日	(日)	県政市政報告会in北部公民館、南部公民館、中津ラグビー祭
1月31日	(火)	中津市職員退職者会理事会、ガスタクの安全対策の現地調査
2月2日	(木)	厚生委員会協議会
2月4日	(土)	NPO法人中津まちなみ会視察(2/5まで、熊本市、天草市、荒尾市)
2月6日	(月)	放課後児童クラブと厚生委員会との意見交換会、小楠児童クラブの現地調査
2月7日	(火)	会派視察(広島県三原市、安芸高田市、東広島市、岡山県和気町、9日まで)
2月10日	(金)	なかつ燦爛市場登録店の交流会
2月11日	(土)	新大塚町どんど焼き、北部校区なぎさサロン役員会
2月12日	(日)	友好都市締結記念植樹(太宰府天満宮)
2月14日	(火)	大分県北骨粗鬆症フォーラム
2月15日	(水)	3月議会招集、一般質問通告書提出、厚生委員会協議会、会派打合せ
2月16日	(木)	県政市政対策会議
2月17日	(金)	議会運営委員会、米山地区自治会と市長との意見交換会
2月18日	(土)	中津市民病院のTQM発表会、北部校区なぎさサロン
2月19日	(日)	ミニラグビー冬季大会応援、東の谷のひなまつり
2月20日	(月)	新大塚町自治会と市長との意見交換会、会派打合せ
2月21日	(火)	市役所退職予定者激励集会&懇親会
2月22日	(水)	3月議会開会、市議会全員協議会、議案質疑の通告書提出
2月23日	(木)	部落解放共闘中津地区会議定期総会、県内一周駅伝の中津入り応援
2月24日	(金)	文化財庭園保存技術者協議会大分県集会在耶馬溪平田邸
2月25日	(土)	城下町なかつのひな祭り、サロンだよ！全員集合in中津
2月26日	(日)	全国基地問題ネットワーク全国交流集会在大分日出生台
2月27日	(月)	地方財政セミナー
2月28日	(火)	市職員労働組合定期大会、福土谷の雛祭り、南掘川町道路改良工事の要望
3月1日	(水)	3月議会議案質疑(2日まで)、市職労女性部学習会「気軽にできる防災対策」
3月3日	(金)	城北中学校卒業式
3月4日	(土)	NPO法人なかつ耶馬溪活き域きネット先進地視察(5日まで、高知市、松山市)
3月6日	(月)	3月議会常任委員会(総務消防、文教経済)
3月7日	(火)	3月議会常任委員会(厚生委員会、8日まで)
3月10日	(金)	3・11を忘れない脱原発平和集会
3月12日	(日)	北堀川町防災訓練、新大塚町自治会役員会
3月13日	(月)	3月議会委員長報告、質疑、討論、採決
3月14日	(火)	3月議会一般質問(17日まで)
3月18日	(土)	北部校区なぎさサロン、平成会総会、講演会「過疎地域を元気にするために」
3月20日	(月)	耶馬溪につぼん酒をつくる会直会
3月22日	(水)	北部小学校卒業式
3月23日	(木)	3月議会自由討議
3月24日	(金)	3月議会最終日
3月25日	(土)	二の丸公園の桜まつり点灯式

◆活動報告は、ホームページに、詳しく掲載しています。

<http://www.m-ohtsuka.com/> 又は大塚正俊オフィシャルサイトで検索して下さい。

### 編集後記 (ひとりごと)

2月に入って花粉症が出始めて、議場でもマスクをしていたので、風邪ですかとよく聞かれました。極めつけは、につぼん酒をつくる会直会のあと風邪をひき、ポケットティッシュを離せない日々が続いています。この通信が届く頃には、マスクが外れていることと思います。(まさとし)



新大塚町自治会総会



北部校区なぎさサロン



市政報告&励ます集い



児童クラブとの意見交換会



友好都市締結記念植樹



市職労女性部学習会